

第35回コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in 熊本

ぎゃんして、ぎゃんすと、ぎゃんなっとたい ～みんなが 団結して行動すれば 未来はひらける～

11月25日(土)から26日(日)にかけて、熊本城ホールにおいて「第35回コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in 熊本」が開催され、全国からのべ280名の仲間が熊本に集会しました。

1日目は第1部として全国ネット総会が開催され、議長には連合熊本ユニオンの出水タ子さんが選出され議事を進行し、すべての議事が満場一致で承認されました。その後くまモンが登場し、歓迎のくまモンダンスを披露して会場を沸かせました。

特別講演として、3歳でこうのとりのゆりかごに最初に預けられた宮津航一さんが「こうのとりのゆりか



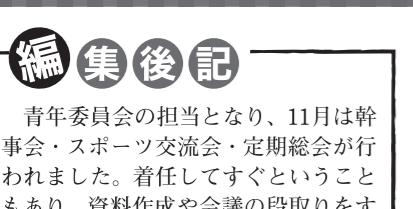
開会挨拶は田中地元実行委員長



「家族のあり方」を語る宮津航一さん



石黒弁護士から逆転勝訴の報告



レセプションに参加された福島みづほ議員

ごからはじまる第2の人生『置かれた場所で花を咲かせる』と題して講演され、「家族というのは血のつながりではない。最後まで味方でいるのが家族」と語りました。続いて、死産した双子の赤ちゃんを自宅に遺棄したとして、死体遺棄の罪に問われたベトナム人元技能実習生の裁判で、逆転無罪を勝ち取った取り組みについて、石黒大貴弁護士に講演いただきました。この2つの講演はいずれも「命」をテーマとしており、参加者のなかには涙ぐむ様子もうかがえました。終了後、第2部のレセプションがANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイでおこなわれ、地元熊本の伝統芸能である山鹿



議長をつとめた出水さん(左)

灯籠踊り保存会による灯籠踊りが披露され、幻想的な灯りの舞が参加者を魅了しました。

2日目は11の分科会にわかれ、それぞれの課題について活発な議論が行われました。その後集会のまとめをおこない、集会宣言を連合熊本ユニオンの吉川一馬さんが提案し承認されました。最後に地元実行委員長の田中広幸連合熊本ユニオン執行委員長の団結ガバローで集会を閉じました。

連合熊本ユニオンを中心とした地元実行委員会はおよそ1年かけて、集会の成功にむけて準備を進めてきました。この集会は来年大阪で開催されます。



参加者とくまモンと記念撮影



幻想的な舞 山鹿灯籠踊り



来年の開催地 大阪であいましょう

編集後記

青年委員会の担当となり、11月は幹事会・スポーツ交流会・定期総会が行われました。着任してすぐということもあり、資料作成や会議の段取りをするにもにかと手間がかかってしまい慌てふためいていた私は「大丈夫ですよ」と優しく見守ってくれた青年委員会幹事のみなさん。とにかくみんな仲がよく「1年でここまで関係をどうやって作れるの?」と驚いています。退任した旧幹事からは「青年委員会活動は楽しかったからまだやりたかった」との声も。それぞれ勤務形態が違うので、WEB併用するなど会議に参加しやすい環境づくりの工夫もしています。青年組合員のみなさん、ぜひ連合青年委員会に参加して下さい!

(Nami)

Topics

RENGO KUMAMOTO

お知らせ



今後の主なスケジュール

- 1月10日 連合熊本2024新春旗開き・賀詞交歓会
- 22日 連合熊本第3回執行委員会
- 27日 連合熊本第1回構成組織・地協代表者合同会議
- 27日 連合熊本第1回地協議長・事務局長会議
- 2月4日 「在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直しを実現する日出生台シンポジウム」
- 2月4日 連合熊本「2024春季生活闘争開始宣言集会」
- 6~7日 全国一斉集中労働相談ホットライン「～STOP!雇用不安!みんなの力で職場を改善しませんか～」
- 14日 連合熊本第4回執行委員会



くらしをまもり、未来をつくる

連合熊本

3811 情報

発行 日本労働組合総連合会
熊本県連合会
発行・編集人 山本 寛
〒862-0976
熊本市中央区九品寺1丁目17-9
☎(096)375-3811 FAX(096)375-3017
印刷所 株式会社 チューンイン
2024年1月1日発行 No. 374

2024年 新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 熊本県連合会 会長 友田 孝行

新年明けまして おめでとうございます。ご家族の皆さまとともに健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃からの連合熊本の運動へのご理解とご協力に心より御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束には至っていないものの、昨年5月に5類感染症への位置づけ変更以降、社会経済の活性化とともにポストコロナ社会へと移行しているところです。

しかしながら、長期にわたるコロナ禍の影響やロシアによるウクライナ侵略がもたらしたエネルギー・原材料価格の高騰、さらには円安も加わって、急性インフレへと進み、国民生活は依然厳しいままとなっています。

2023春季生活闘争では、30年ぶりの高水準で賃上げが実現しましたが、実質賃金はマイナス推移し続け、現下の物価高に追いついていません。

2024春季生活闘争は、これまでの単なる延長ではなく経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場であり、その最大のカギは、社会全体で問題意識を共有し、持続的な賃上げを実現することです。

また、すべての働く仲間へと波及させていくには、政府が策定した「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」が実効性ある内容となるよう働きかけるなど、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分、働き方も含めた「取引の適正化」に取り組んでいかなければなりません。

連合熊本は第18期運動の基軸を「社会経済のステージ転換に向けて」としています。連合に集う私たちは、すべての働く仲間にとて「必ずそばにいる存在」として、労働組合が持つ社会的価値を広く訴え、理解と共感を得ながら、社会経済のステージを転換する運動を構成組織、地域協議会と一体となり進めていきたいと思います。本年も皆さんのご理解とご協力をお願いします。

結びに、2024年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」と言われております。本年はこれまで誠実に積み上げてきたものが、実を結ぶ年になりそうです。

本年が皆さんにとって、輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年のあいさつとします。

2024年 新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 会長 芳野 友子

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

多くの方々の支えにより4年あまり続いたコロナ禍を経て、5類感染症に移行して初めての新年を迎えました。その一方で、物価高による生活苦を感じる方々が大勢おられます。持続的な賃上げが可能となるよう経済社会のステージ転換を図るため、サプライチェーンにおける労務費を含む価格転嫁の実現を強く訴えて参ります。

また、世界を見ると「平和なくして労働運動なし」との信念が今なお脅かされる脆さもあることを痛感しています。同じ空の下、戦火に不安を抱えながら命をつないでいる仲間の安全を祈り、改めてその想いを強くしたいと思います。

ジェンダー平等や社会的な対話の促進は、あらゆる連合運動の基盤となる取り組みです。これまでの取り組みを踏まえながら、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」に加え、「はたらくのそばで、ともに歩む」のキャッチコピーとともに、皆さまのご期待に沿えるよう、スピード感を持ち、ジブンゴトとして課題に取り組みます。

本年も皆さんにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。



み
ん
な
で
賃
上
げ
。
ス
テ
ー
ジ
を
変
え
よ
う

活動に参画しやすい環境づくりを

第34回青年委員会総会

12月9日(土)にアークホテル熊本城前において、第34回青年委員会総会を開催しました。昨年はコロナ感染拡大を考慮し代議員数を制限して行いましたが、今年は代議員数を本来の数に戻した総会の開催となりました。総会は、議長に池本代議員(紙バ連合)が選出され、幸恵委員長による挨拶に引き続き、連合熊本友田会長の挨拶で総会に花を添えていただきました。2023年度活動報告、2024年度活動方針、役員選出について、廣瀬事務局長が提案し、全ての議案について満場一致で承認されました。新旧役員挨拶のあと、この総会で選出された西野新委員長による団結ガンバローで総会を終了しました。コロナ禍での活動が徐々に緩和された昨年度は「リベンジ活動」としてスタートしました。今年度は11名が新任という新体制となりますが、より多くの仲間たちが参画しやすい環境づくりにつとめながら、今後も運動を進めています。



青年委員会総会参加者

2024年度 青年委員会役員体制

役職名	氏名(敬称略)	構成組織名	
委員長	西野 誠志	私鉄連	新任
副委員長	中路 盛智	JP労組	新任
	永井 秀隆	UAゼンセン	再任
	入田 将嗣	紙バ連合	新任
事務局長	竹原 信吾	電機連合	新任
事務局次長	藤井 治	全労金	新任
幹 事	橋本 祐樹	自治労	新任
	本田 一樹	自動車連	新任
	本田 尊音	情報労連	新任
	徳本 佳大	JAM	新任
	川嶋 蓮	電力連	新任
	上田 真英	交通労連	再任
	小野 加奈	国公連合	新任
	焼谷 源	JR連合	再任

労働組合への継続した女性参画推進を

第34回女性委員会総会

12月9日(土)、アークホテル熊本城前において、第34回女性委員会総会を開催。乗富委員長は「すべてのシーンにおいてジェンダーの視点を取り入れ、多様性を認め合い、足元から『ジェンダー支流化』を具現化していかなければなりません。まずは、自身の単組において目標達成へ向けた取り組みと働きかけをお願いしたい」と力強く挨拶しました。総会議長には中山代議員(熊本教育ユニオン)を選出し、2023年度経過報告後、活動の強化、男女平等政策実現、青年委員会との連携などを柱とする2024年度活動方針、新役員体制が満場一致で承認されました。また、総会後「楽しく~楽に~快活生活」と題して学習会が開かれました。田尻ふみ講師の実体験を踏まえたわかりやすい講義やみんなで体を動かす時間なども設けられ、和気あいあいとした雰囲気が作られました。



新旧幹事のみなさん

2024年度 女性委員会幹事体制

役職名	氏名(敬称略)	構成組織名	
委員長	乗富あづさ	自治労	再任
副委員長	野見山櫻子	JAM	再任
	和田 幸子	熊教組	再任
事務局長	大久保 舞	自動車連	新任
幹 事	池田 共美	自治労	再任
	大田黒紗代	JP労組	再任
	山川 寛華	UAゼンセン	再任
	丸橋 百愛	電機連合	再任
	加藤 千尋	電力連	新任
	宮崎 儒璃	全労金	新任
	木村菜々美	JR連合	新任
	原口菜穂子	熊本教育ユニオン	再任

今や高齢者は社会的一大勢力！

第30回熊本県退職者連合定期総会

12月1日(金)九州労働金庫熊本駅前支店会議室において、第30回熊本県退職者連合定期総会が開催され84名が参加しました。山下副事務局長の進行で、議長団に野代議員(日立有明OB会)、梅田代議員(農水省退職者会)を選出し、議事に入りました。

河瀬副会長は「今年3月の年金改定ではわずか1.9%の増額、一方消費者物価指数は3.3%上昇しており、私たちの生活は厳しい状況にありますが、5%の要求を行うことが決定された2024春闘の取り組みをぜひ頑張ってほしい」と現役世代にエールを送りました。

引き続き、2022年度経過報告、2022年度会計監査報告が行われたあと、2023年度活動計画および予算が提案され、米岡事務局長は「有権者の5割を65歳以上が占め、今や高齢者は社会的一大勢力となっています。熊退連として自信をもって、私たちの『声』をアピールしたい」と提起しました。続いて役員改選が提案され、全ての議事が満場の拍手で承認されました。

最後に今年のスローガン「かけがいのない平和を 未来を担う若者へつなごう」を確認し、米岡新一新会長の団結ガンバローで、定期総会を終了しました。

2023年度熊本県退職者連合 役員体制

役職名	氏名(敬称略)	構成組織名
会長	米岡 新一	九電ユニオン友の会
副会長	谷川 忠光	NTT労組退職者の会
	工藤 征子	熊本県退職教員等連絡協議会
事務局長	河瀬 和典	全日本自治体退職者会
副事務局長	猪塚 雄二	NTT労組退職者の会
	園田 礼二	熊本県高等学校退職教員連絡協議会
	山下 和美	JR九州労組退職者連絡会



団結ガンバロー

地域協議会総会報告

肥後有明地協

12月2日(土) 山鹿市の富士ホテルにおいて第7回定期総会を開催し、74人が結集しました。議長に原田代議員(自治労連)と島津代議員(電機連合)が選出されました。馬場議長は「皆さんの協力なくしては、執行部や幹事だけでは活動はなりたたない。一丸となってともに頑張りましょう」と挨拶し、2024春闘勝利に向けた取り組みと地協行事への積極的な参加を呼びかけました。

来賓として、友田連合熊本会長、早田山鹿市長、浅田荒尾市長、村上玉名副市長、勢田山鹿市議、荒玉・鹿本地区労足会長からご挨拶をいただきました。

議事に入り、2023年度活動報告と決算報告、2024-2025年度活動方針、2024年度予算、役員改選が満場一致で承認され、一致団結して取り組むことを確認し、馬場議長の団結ガンバローで締めくくりました。

その後の新旧役員慰労会では、多くの参加者と親睦を深めることができました。



馬場議長による団結ガンバロー

菊阿地協

12月2日(土) 菊陽町杉並木公園管理センターにおいて第10回定期総会を開催しました。

議長団に馬原代議員(自動車連)西田代議員(全労金)が選出され、竹田副議長の挨拶の後、友田連合熊本会長、鎌田立憲民主党県連代表及び熊本1区予定候補者の出口氏、今泉社民党県連代表及び熊本3区予定候補者の橋村氏、佐藤阿蘇市長、推薦議員団を代表し上田菊陽町議、事業体を代表して九州労働金庫熊本県本部峰本部長に来賓挨拶を頂きました。

議事に入り、2024-2025年度運動方針と役員体制が満場一致で承認され、総会を閉じました。

議長に松村勲氏(自動車連)、副議長に古市哲治氏(自治労)、幹事に倉田英之氏(自治労)小玉恵三氏(電力連合)柴田光臣氏(交通労連)、会計監査に高見淳氏(自治労)平田薰氏(全労金)が新しく選出されました。

今回議長を退任された渋谷英行氏におかれましては、今までの連合活動へのご尽力に深く感謝しますとともに、今後のご活躍を祈念いたします。



就任挨拶をする松村新議長

熊本地協

11月22日(水)熊本県労働者福祉会館にて第18回定期総会を開催しました。

執行部を代表して西村議長は、来賓や代議員に対して出席のお礼や平素からの支援活動協力にお礼を述べました。来賓挨拶では、連合熊本友田会長、熊本市より野崎産業部長、推薦議員団より西県議、福社事業体から峯九州労金県本部長の4名からありました。総会議長に藤本代議員(自動車連)を、総会各種役員には、尾崎代議員(電機連合)、山下代議員(国公連合)、峯職員を選出しました。柿田事務局長より2023年度活動報告、会計報告、会計監査報告を行い確認されました。次に第1~4号議案: 2024年~2025年度運動方針(案)、2023年度剩余金の処分(案)、2024年度予算(案)、役員の改選について賛成多数で承認されました。

最後に森田新議長の「団結がんばろう」で終了しました。



2024年度新役員のみなさん

県南地協

11月18日(土) 八代市役所(多目的ホール)において、県南地協第7回定期総会を開催しました。

松崎議長の主催者代表あいさつに続き、連合熊本山本事務局長、立憲民主党熊本県総支部連合会鎌田代表、推薦議員団から幸村県議、熊本県労働者福祉協議会浦本専務理事よりあいさつを頂きました。その後、2023年度の経過報告、決算報告、2024年~2025年度の活動方針(案)、2024年度予算(案)、役員改正(案)が満場一致で承認されました。

議事に入り、2023年度活動報告・会計報告、会計監査報告が承認され、2024~2025年度運動方針、2024年度予算、2024年度役員改選が、満場一致で承認されました。

役員改選では、副議長に甲斐慎吾氏(JP労組宇城)、事務局次長に藏元慎也氏(自治労天草)、廣津亮輔氏(自治労上益城)が四役として新たに就任しました。

最後に丸田議長による団結ガンバローで総会を締めくくりました。

広域地協ではありますが、地協内外の情報共有化を意識した活動を進めていきたいと思います。



連合熊本県南地域協議会第7回定期総会

吉村議長による団結ガンバロー

開会挨拶をする松崎議長